

2019年度 8時間連続水質調査計画書

令和元年8月吉日

鯉城・堀川と生活を考える会

調査の目的 堀川の最大の特徴は、自主水源を持たない感潮河川である。
(下流において流速や水位が潮の干満の影響を受けて変動する河川のこと)
当会としては、感潮河川の経時的な変化のなかでの水質調査・景色の変化
生き物を観察することで、堀川の豊かさを見いだすことを目的とする。
今年度は、満潮時から干潮時に於ける採水とする。

調査地点 志賀橋、中土戸橋、納屋橋、山王橋、瓶屋橋、大瀬子橋、港新橋

調査月日 令和元年10月3日(木) 予備日 令和元年10月19日(土)
満潮 8:58 満潮 9:06
干潮 14:36 干潮 14:33

調査回数・時刻

10月3日(木)			予備日 10月19日(土)		
回数	調査時刻	記事	回数	調査時刻	記事
1	9:00	満潮	1	9:00	満潮
2	10:00		2	10:00	
3	11:00		3	11:00	
4	12:00		4	12:00	
5	13:00		5	13:00	
6	14:00	干潮	6	14:00	干潮
7	15:00		7	15:00	
8	16:00		8	16:00	

調査方法 調査項目毎にパックテスト、機器テスト、官能検査、観察により現地で行う。
パックテスト COD(高、低)、NH4(アンモニウム態窒素)
機器テスト 気温、水温、塩分、透視度、DO、PH
DO 25・26期に於いては、DO試験機を使用しDOデータ
採取をお願いします。(DO機器とのデータ比較の為)
官能検査 臭気
観察 川の色、水の色、
川の内外の生き物、川面の様子他、

調査担当箇所 2019年度は次の7か所を各期で担当する。
(年間行事予定とする)

志賀橋	18~21期	山王橋	23期
中土戸橋	22期・32期	瓶屋橋	25・26期
納屋橋	24期	大瀬子橋	28期・30期
		港新橋	27期

採水方法 各測定点とも橋(川)の中央部で表層水を採水する。
塩分は、マニュアルp17、18に基づき行う。

調査手順書 “水質分析マニュアル”(KTS-2013)に基づく。

添付資料 8時間連続調査記録紙 2019年版(各測定地点用)
現地使用機材薬品等リスト 各担当調査場所ごとで確認してください。

追記

1) 当日の実行について

当日は、小雨程度では実行します。

当日雨が降りそうな場合は、雨具の用意をして下さい。

最終判断は、NHK6時58分頃の天気予報に於いて、降水確率60%以上の場合は、延期とする。

2) 器具類の保管

・DO試験機は、25・26期で保管

・クーラーボックス(保冷剤含)は、引き続いて各期にて保管をお願い致します。